

研究主題

夢と志の実現を目指し、

自ら学び、未来を切り拓く生徒の育成

— 確かな生徒理解に立ち、「わかった、できた」喜びを味わわせる授業をとおして —



平成26年11月28日(金)

深谷市立藤沢中学校

校長あいさつ

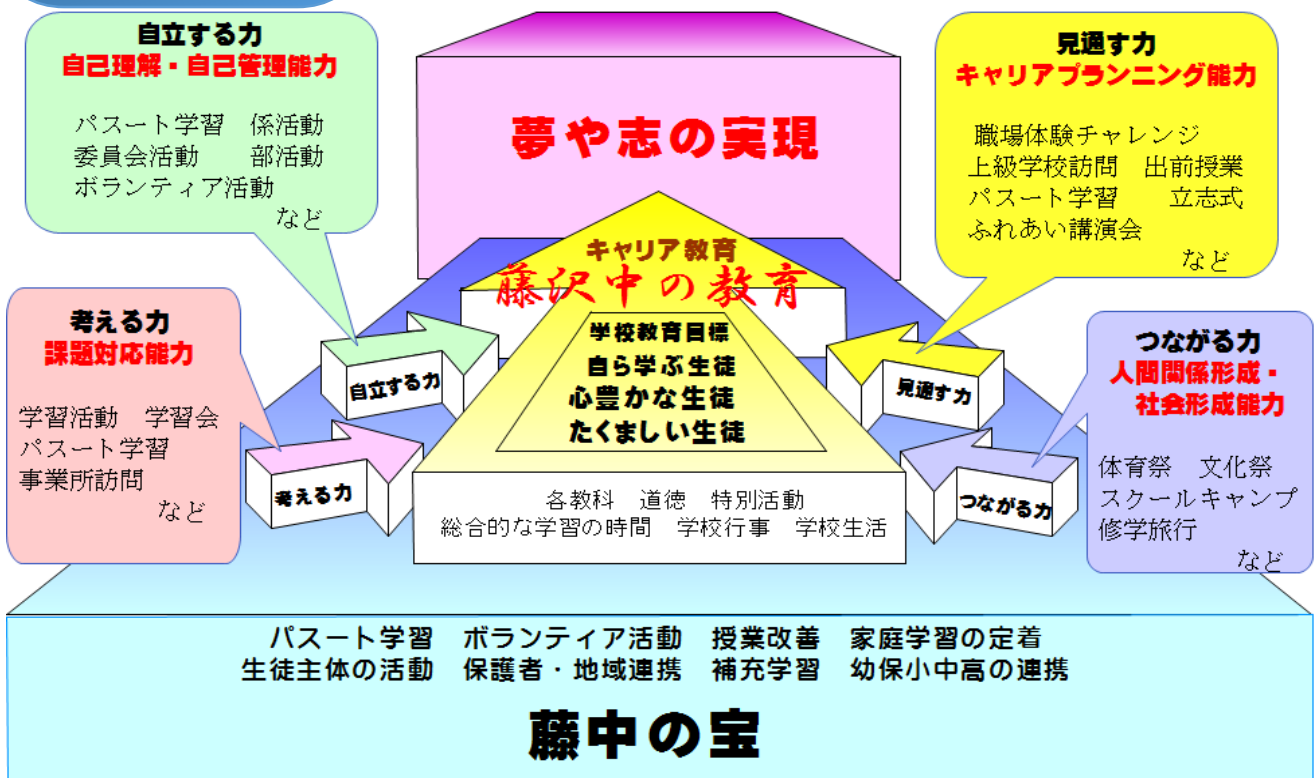
今回の発表をとおして、全教職員が進路指導・キャリア教育の視点をもって、藤沢中の宝であるさまざまな教育活動のなかにある断片をつなぐことができたと感じています。今後、さらに意図的・計画的な実践に深化していくことができると考えています。そして、藤沢中の生徒の課題である肯定的な自己理解と自己有用感が身に付くことによって、自尊感情が高まり、さらに目指す生徒像「志高く夢に向かって粘り強く取り組める生徒」に近づくことができると確信しています。本日まで御指導いただいた先生方、本日御参会いただいた先生方に心から御礼申し上げます。

研究の概要

平成24年度から学校研究課題「確かな生徒理解に立ち、どの子にも『わかった、できた』喜びを味わわせる授業の創造」のもと、全教職員による研究実践の結果、平成25年度の全国学力・学習状況調査の結果では、ある一定程度の学力向上の成果は図られた。しかし、生徒のアンケート結果では「将来への夢や目標を持っている」75.7%、「自分で計画を立てて勉強を行う」31.4%、「自分の考えの意見を発表することが得意」39.8%と非常に低く、**生徒に夢や志、目標を持たせ、自ら学び未来を切り拓く生徒を育成するための手だてが必要であると考えた。**さらなる確かな学力を身につけるためには、本校の重要課題である『言語活動の充実』『言語力の向上』を図り、進路指導・キャリア教育を意識した、より具体的な取り組みが必要であると考えた。そこで、さまざまな教育活動の断片を進路指導・キャリア教育の視点を意識した教育活動として全校で取り組んだ。昨年度までの学力向上の取り組みを土台とし、「藤中の宝」である教育活動を進路指導・キャリア教育の視点からつなぎ、連携させ、より自尊感情を高める意図的な教育活動となるよう整理・統合・深化したいと考えた。

生徒の変容を期待し、さらに未来を切り拓くための学力を以下の**(考える力・自立する力・つながる力・見通す力)**と捉え、その向上へ結びつけていきたい。

研究の全体構想図



研究の仮説

1 学習意欲の向上・学習習慣の確立

- ・学校全体で授業改善や学習指導の工夫をすることで生徒に**考える力**が身に付くであろう。
- ・立腰指導を行うことで学習規律が身に付き、ノート指導を充実させることで、家庭学習の習慣が確立し、**自立する力**が身に付くであろう。
- ・各教科において意図的に、言語活動を取り入れることで、**考える力**やコミュニケーションスキル、自尊感情の向上がみられ、夢や志の実現を意識した活動が自らできるようになり、**つながる力**や**見通す力**が身に付くであろう。
- ・年間を通した補充学習会を計画的に実施することで、基礎基本が身に付き、学習意欲が向上し、さらに**自立する力**が身に付くであろう。



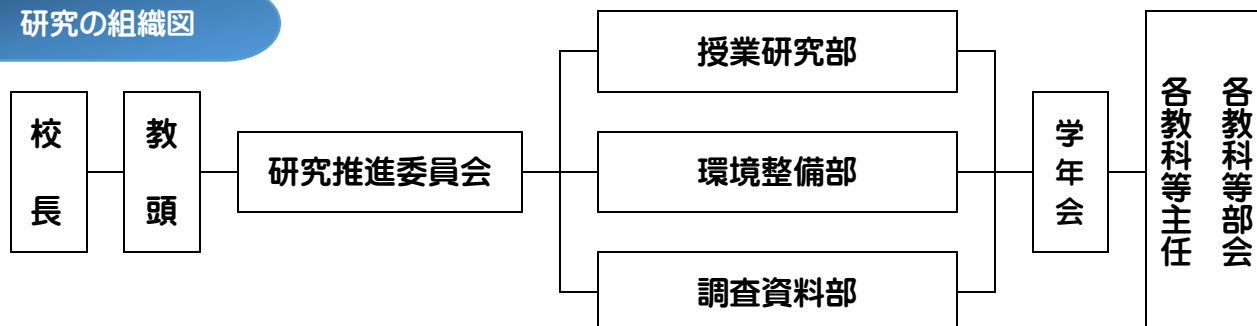
2 社会変化への対応

- ・「パースト学習」で、自分の生き方を探究し、課題を見つけ解決することや自分の考えをまとめ、発表することで、**考える力**、**見通す力**が身に付くであろう。
- ・生徒会活動を通して自主的・自発的な自治活動を活発に行うことで組織の一員であることを自覚し、自己有用感を高め、**自立する力**が身に付くであろう。

3 地域・幼保小中高の連携

- ・地域を支えるさまざまな「福祉ボランティア活動」を計画的意図的に実施することで、自尊感情やコミュニケーションスキルを高め、**つながる力**が身に付くであろう。自らの役割や可能性に、自己有用感を感じ、さらに**自立する力**が身に付くであろう。
- ・近隣の保育園、藤沢小、高校などとの交流事業や出前授業をとおして、**つながる力**、**見通す力**が身に付くであろう。

研究の組織図



授業研究部

- ・相互授業参観の実施(年2回)
- ・授業改善における6つの共通実践事項
 - ① 学習の内容や課題の明確化
 - ② 学習の流れがわかるようにする
 - ③ 言語活動の充実
 - ④ 理解を深め合う(学び合い)
 - ⑤ ICTの利用・視覚化
 - ⑥ 振り返り(目標達成の状況把握)
- ・言語力の育成を意図した教育課程

調査資料部

- ・生徒の実態把握のためのアンケート作成、集計、考察
- ・各種アンケートのまとめ

環境整備部

- ・学習環境の整備
- ・学習規律の徹底
- ・あいさつ指導
- ・進路指導・キャリア教育環境整備



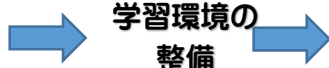
藤中の宝とキャリア教育との関連

1 確かな学力の向上

○学習指導の工夫

「課題対応能力」の向上

ノート指導
家庭学習
立腰指導



学習環境の
整備

学習規律の向上
学習意欲の向上



ノート指導

○言語活動の充実

「課題対応能力」の向上

書き取りの時間
学び合い



自分の考えをまと
め発表する



書き取りの時間

○学習会の実施

「課題対応能力」の向上

定例学習会(年間15回)
定期テスト前の学習会(計5回)
夏季休業中補充学習
(1・2年各5日間、3年10日間)



基礎学力の定着



定期テスト前の学習会

◆職員の指導力向上・指導法の工夫…相互授業参観(年2回)

2 社会の変化への対応

○パースト(探究する)学習

「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の向上

「総合的な学習の時間」における全校縦割り課題解決学習。生徒自身の興味あるテーマについて、一日調査体験を行い、探究させることで、自分の生き方につなげさせる。



パースト学習用テキスト



全校ガイダンス(4月)



テーマ決定(5月)



資料調査(5月~9月)



一日調査体験(9月)



レポート作成(9月)



分野別発表会(10月)



全校発表会(11月)

一日調査体験おもな訪問場所(H26) 航空自衛隊、赤城乳業、深谷市役所、防災学習センター、東京アニメーター学院、上野動物園、国立科学博物館、テレビ東京、集英社、富士通など

○ボランティア活動 「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」の向上

地域福祉施設ふじさわ苑とのお花見会
福祉施設利用者の方との早朝散歩
花フェスタ・オープンガーデン参加
緑化活動ボランティア

ボランティア活動への参加

社会への関わり
自己の役割理解
自尊感情・コミュニケーションスキル



お花見会



早朝散歩



オープンガーデン



緑化活動ボランティア

○段階的な体験活動 「人間関係形成・社会形成能力」「キャリアプランニング能力」「自己理解・自己管理能力」の向上

1年
人間関係づくり
職業調べ

2年
スクールキャンプ
上級学校訪問
社会体験チャレンジ
立志式

3年
出前授業
修学旅行
進路説明会

「夢や志の実現」
のための
進路選択



人間関係づくり



スクールキャンプ



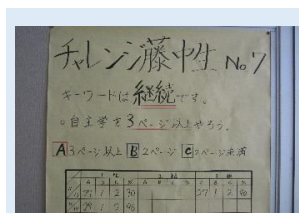
上級学校訪問



進路説明会

○自主的・自発的な自治活動 「自己理解・自己管理能力」の向上

生徒会による
「チャレンジ藤中生」
「集会無言入退場」
「藤中ミシュラン」
「ハッピーフレンズデー」



チャレンジ藤中生



集会無言入退場

3 地域・幼保小中高の連携

○社会へつながる連携 「人間関係形成・社会形成能力」「キャリアプランニング能力」の向上

・小学6年生と語る会
・小学生との挨拶運動
・保育実習
・公民館主催企業訪問
・学校応援団ふれあい昼食会(煮ぼうとう)



小学6年生の
中学生と語る会



藤沢保育園への
保育実習



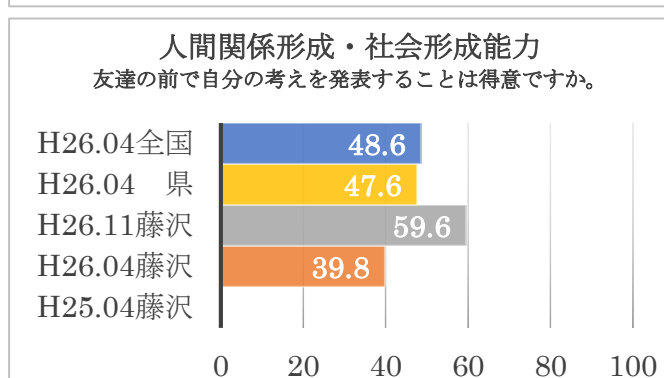
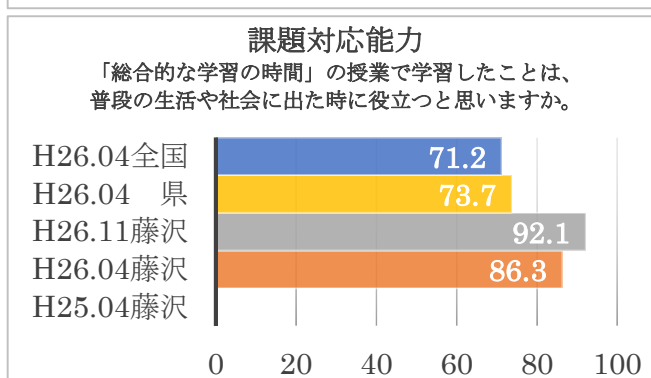
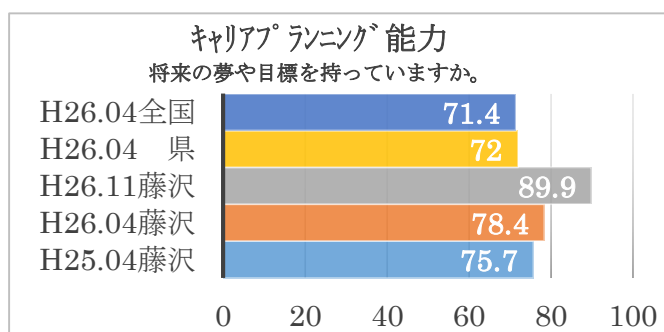
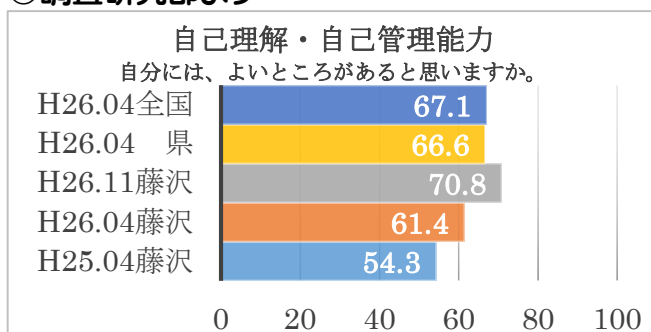
公民館主催
企業訪問

調査の結果から

○「藤中の宝」を検証(抜粋) 全国学力・学習状況調査質問紙における肯定的意見の割合経年変化(%)

視点	質問紙項目	H22	H24	H25	H26	H26 全国
キャリア プランニング能力	自分で計画を立てて勉強していますか	47.3	47.6	31.4	48.9	46.6
	家で学校の授業の予習をしていますか	33.3	29.8	32.8	51.1	34.2
人間関係形成・ 社会形成能力	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.6	91.7	94.3	97.3	94.0
	地域の行事に参加していますか	74.2	57.1	58.6	60.2	43.5

○調査研究部より



研究の成果と今後の取組

1 研究の成果

- ・以前より自尊感情の低さに課題があったが、本年度の全国学力・学習状況調査の「自分には、良いところがあると思いますか」に対する肯定的な回答に改善が見られた。
[自己理解・自己管理能力]
- ・「将来の夢や目標を持っている」生徒の割合が高まり、計画的に学習に取り組もうとする意識も高まりつつある。
[キャリアプランニング能力]
- ・総合的な学習の時間の取組は研究の柱として取り組んできた。生徒の回答も肯定的であることがわかる。
[課題対応能力]
- ・社会への関わり大切さは多くの生徒が理解しており、本研究を通して「自分の考えを发表すること」への意識に向上がみられた。
[人間関係形成・社会形成能力]

2 今後の取組

- 各教科等における言語活動を充実させるための教育課程をさらに工夫する。
- 教科学習の中で、社会に出たときに、現在の学習がどのように活かされ、活用されているのかを指導し、さらなる学習意欲の向上につなげていきたい。
- 生徒の変容を期待し、さらに未来を切り拓くための学力(考える力・自立する力・つながる力・見通す力)の向上を意図的計画的に図っていきたい。

資料 1

相互授業参観カード

日時	教科	クラス	授業者	参観者
月 日 曜日 校時		年 組		

教材名・単元名「 _____ 」

学校研究課題（『夢と志の実現を目指し、自ら学び未来を切り拓く生徒の育成』—確かな生徒理解に立ち、どの子にも、「わかった、できた」喜びを味わわせる授業を通して—）との関連

取り組みの内容	本時における具体的な手だて
学習の目的や課題の確認	カードと板書 ・ カードのみ ・ その他（ _____ ）
	評価
学習の流れがわかるようにする	カードと板書 ・ カードのみ ・ 口頭のみ ・ 板書のみ その他（ _____ ）
	評価
言語活動	記述 ・ 発表 ・ 話し合い ・ その他（ _____ ）
	評価
理解を深めあう（学びあい）	ペア ・ トライアングル ・ 生活班 ・ 4人組 ・ その他（ _____ ）
	評価
ICTの利用・視覚化	拡大提示装置 ・ CD ・ DVD デジタルカメラ パソコン ・ プロジェクター ・ 電子黒板 その他（ _____ ）
	評価
振り返り（目標達成の状況把握）	自己評価カード ・ 代表者の発表 ノートに記入 ・ 挙手での確認
	評価

資料 2

第 学年 組 科学習指導案

平成26年 月 日 ()

第校 時 [年 組教室]

指導者

- 1 教材名・単元名「 」 時間 / 時間
- 2 学校研究課題「夢と志の実現を目指し、自ら学び未来を切り拓く生徒の育成」—確かな生徒理解に立ち、「わかった、できた」喜びを味わわせる授業を通して一との関連（授業研究部の取組）

取組の内容	本時における具体的な手だて
学習の目的や課題の確認	カードと板書 カードのみ その他 (
学習の流れがわかるようにする	カードと板書 カードのみ 口頭のみ 板書のみ その他 (
理解を深めあう (学びあい)	ペア トライアングル 生活班 4人組 その他 (
ICTの利用・視覚化	拡大提示装置 ・ CD ・ DVD デジタルカメラ パソコン ・ プロジェクター ・ 電子黒板 その他 (
振り返り (目標達成の状況把握)	自己評価カード ・ 代表者の発表 ノートに記入 ・ 挙手での確認

- 3 本時の指導
- ① 本時のねらい

・
・

②展開

	学 習 活 動・学 習 内 容	学校研究課題との関連
導 入	1 前回までの復習をする。	始業のあいさつをしっかりとさせる。
	2 学習課題・学習目標を提示する	
	学習課題・学習目標・ねらい	
	3 本時の流れを確認する	
展 開	4	
	5	
	6	
	7	
ま と め	8 今日できたこと・わかったことを自己評価カードにまとめ、発表し合う。	終業のあいさつをしっかりとさせる。
	期待する【生徒のできたこと・わかったこと】	

- 4 備考 生徒数 男子 名 女子 名 計 名